

伴野豊の絆レポート No.30



伴野豊の活動報告

みなさん！こんにちは、伴野豊です。鬱陶しい梅雨が続きますが、いかがお過ごしですか？体調管理が難しい季節です、くれぐれもお気をつけ下さい。

さて、W杯侍ブルー。明日がコロンビア戦。最後まで諦めず、完全燃焼してもらいたいです。観戦後のゴミ拾いで一躍有名になった日本人サポーター。まさにフェアプレーの国、日本らしい素敵なお出来事。次に有名になるのは選手達。奇跡を現実に。期待しています！



伴野豊の気になる国土交通政策

6月17日の記者会見にて、国土交通大臣が観光政策について語っておりましたので、気になるところを拾って見ました。

『第4回観光立国推進閣僚会議が開かれ、観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014を決定した。今回のアクション・プログラムでは、20年に向け、訪日外国人旅行者数2000万人の高みを目指すための施策がまとめられた。具体的にはこの1年、4本の柱立てと言ってきたが、特にこれから2本追加し、(ここが非常に大事なことだと思う。) 昨年6月に策定したアクション・プログラムの4本の柱に加え、新たに20年五輪・パラリンピックを見据えた観光振興、そしてもう1点、世界に通用する魅力ある観光地域づくり、という2本の柱を追加した。

昨年の今ごろ出したアクション・プログラムだが、その後、9月に五輪・パラリンピックが決まり、暮れに1000万人を達成したことから、第1に20年五輪・パラリンピックを見据えた観光振興を柱の一つにしたい。五輪開催国としての国際的注目度を生かした訪日プロモーションを進めて、その開催効果を全国に波及させるための施策を盛り込んでいるのが一つ。もう一つは、二つ目の柱になるが、世界に通用する魅力ある観光地域づくりだ。全国各地で地域住民や自治体が主人公となって、尽きることのない日本の魅力を観光資源として徹底的に磨き上げ、世界に対して効果的に発信していくために必要な施策を盛り込んでいる。

これまでの4本の柱は、インバウンドの飛躍的拡大に向けた取り組みが一つ。ビザ要件の緩和など訪日旅行の容易化が一つ。外国人旅行者の受け入れ環境の整備が一つ。MICEの誘致・開催促進と外国人ビジネス客の取り込み、これが4本の柱だったが、二つの柱を取り込んでいく。特に4本の中のインバウンドの飛躍的拡大という中には、訪日プロモーションの戦略的拡大という部分があるし、ビザ要件の緩和ということについては、インドネシア向けビザ免除などの戦略的なビザ要件の緩和およびCIQに係る体制整備なども盛り込んでいる。外国人旅行者の受け入れ環境の整備という項目では、免税制度の拡充を契機とし、免税店を全国で現在の倍増、1万点規模に倍増する。無料Wi-Fi環境の整備、多言語対応の強化、ムスリム旅行者への適切な情報提供の推進、これらを入れている。最後に、MICEの誘致・開催促進と外国人ビジネス客の取り込みにおいては、国際会議に加え、企業の報奨旅行や研修旅行を日本に誘致する政策などを盛り込んでいる。今後、20年に向けてこれらの政策を確実に実行してまいりたいと思っている。』

伴野豊の気になる本

今回の伴野豊の気になる本は、ジャーナリスト池上彰著「知らない恥をかく世界の大大問題 5」です。内向き米国、混乱するEU、深刻化アラブ、したたか中国、豪腕ロシア。新たな東西冷戦の始まりが垣間見え、ますます混沌とする世界。どうする日本。アベノミクスはどこへ向かうのか？

昨今のヘイトスピーチの根底に流れる代表的傾向。きちんとした歴史や文化を学ぶことを軽蔑し、自分たちの思い込みやネットにあふれる扇動的な言説に簡単になびいてしまう現代社会の傾向に強く危機感を感じた筆者の渾身の一冊。自ら考え、自ら道を切り開いていく能力を磨きたい方には必須の一冊です。

角川SSC新書(定価:本体800円+税別)

ば ばんの豊フェイスブックページ

検索 🔍

伴野豊事務所 半田市青山2-19-8

TEL: 0569-25-1888

FAX: 0569-25-1881

HP: bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区: 半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

